

問 い 合 わ せ 先
第二管区海上保安本部
海洋情報部監理課長 田中
TEL 022-363-0111(内線 2510)

平成17年1月26日

平成16年「海の相談室」の利用状況について

第二管区海上保安本部「海の相談室」では、平成16年に一般の方などからの電話、手紙、メールなどによる海などに関する質問に対して783件の情報を提供しました。

第二管区海上保安本部「海の相談室」は、平成3年に開設され、東北管内の海洋情報の提供窓口として、潮汐の干満など海に関する事象、疑問などの問い合わせにお答えしております。

- 1 提供件数の内訳は、潮干狩り及び釣に使用する潮の干満の時刻などが最も多く約45パーセントを占め、海図の見方などが約18パーセント、日の出、日の入りの時刻などが約11パーセントとなっています。
- 2 利用者は、個人が最も多く約74パーセントを占め、次いで民間企業の約15パーセントとなっています。
- 3 過去3年間の提供件数の推移は次のとおりです。

年	14年	15年	16年
提供件数	765件	712件	783件

なお、第二管区海上保安本部「海の相談室」の利用方法などについては、次のとおりです。

住 所 : 〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1

電 話 : 022-363-0111(内線2511)

ファクシミリ : 022-365-1341

利 用 時 間 : 土曜日、日曜日及び祝日を除く平日の毎日午前8時30分から午後5時00分まで。

電 子 メ ー ル : sodan2@jodc.go.jp

平成16年「海の相談室」への問い合わせ事例

事例（海図について）

塩釜市の高校の先生から

「授業の一環として塩釜付近の地名、海岸線の変化を調べていますので、そのようを資料を見せていただけますか。」

という問い合わせがありました。

後日、先生と生徒の2名が来庁したので、塩釜付近の明治から昭和にかけての旧版海図、

明治35年刊行 旧版海図第64号 石浜及付近

昭和2年刊行 旧版海図第64号 塩釜港及付近

昭和28年刊行 旧版海図第64号 塩釜港

昭和47年刊行 旧版海図第64号A 塩釜港塩釜

平成16年刊行 海図第64号A 仙台塩釜港塩釜

を見てもらいながら、

- ・塩釜港の変遷に伴ない海図も改版されていること
- ・これらの改版海図から地名及び海岸線の形状の変化が伺えること
- ・海図に記載してある数字(水深)の意味及びコンパスマークなどの記号の見方や使い方
- ・明治4年から海図を作っていること
- ・航海用の海図以外にも目的に応じた特殊図も刊行していることなどについて説明し、必要部分をコピーして渡しました。

生徒さんからは

「海の近くにいるのに海図を知らなかった。」

「海図を初めて見たけど、こんなに綺麗なものとは思わなかった。」

また、先生は

「こんな古くから海図が作られているとは、思わなかった。明治時代の海図と現在の海図と海岸線の形がほとんど違ってない。海図の作成ってすごい技術なんですね。」

「塩釜の港の移り変わりや町の発展の状況が分かり、歴史を知るうえで貴重な資料だと思います。」

「ほかにもいろいろな研究資料に使えるそう。もっと早くから聞きにくればよかったです。」

と関心していました。